

異文化相互理解事業 ● 講演会



15世紀、朝鮮王朝に生まれた文字体系〈訓民正音（くんみんせいおん）〉。

その誕生は単なる文字体系の誕生に留まらない。

彼の地にあっては、一千年にわたって、およそ〈書かれたことば〉のすべては漢字漢文であった。

彼の地にあって〈話されたことば〉はついで書かれることがなかった。

人々の貴き〈母語〉である朝鮮語はただ話されるものであって、書かれることはなかった。

朝鮮王朝第4代の王・世宗（セジョン）は、未だかつて誰も眼にしたことのない朝鮮語の〈書かれたことば〉を創製する。

これに驚愕した王朝の知識人たちは、命がけて王を諫めんとする。

〈訓民正音〉と呼ばれたその文字の創製と成長は、彼の地の〈知〉のありかたを根底から変革することとなった。

〈訓民正音〉は後に〈ハングル〉と呼ばれ、しばしば人の生と死にも関わってゆく。

日本と韓国の読書人が絶賛した名著『ハンゲルの誕生』で描かれる、

我らの時代が驚嘆すべき〈知〉のドラマを、ここ、宝塚の地で共に！

ハンゲルの誕生

—〈知〉の革命—

2012年 **2月28日**（火） **14:00** —（開場 **13:30**）

会場：**宝塚市立文化施設ベガ・ホール**（宝塚市清荒神1丁目）

阪急宝塚線 清荒神駅下車徒歩1分

入場無料 先着 380名

講師

のま ひでき

野間 秀樹

専門は、朝鮮言語学、日韓対照言語学、韓国語教育。

国際教養大学客員教授。前 東京外国語大学大学院教授。

1996-97年、ソウル大学校韓国文化研究所特別研究員。

2004-06年 NHK テレビハンゲル講座監修、ラジオハンゲル講座講師。

2005年、大韓民国文化褒章受章。2010年、アジア・太平洋賞大賞受賞。

著書に『ハンゲルの誕生』（日本語版は平凡社、韓国語版は図書出版トルベゲ）、

『韓国語 語彙と文法の相関構造』（ソウル、太学社）、『至福の朝鮮語』（朝日出版社）

など、編著書に『韓国語教育論講座』全4巻（くろしお出版）など。

主催 ● 宝塚市 / 宝塚市国際交流協会 /
宝塚市外国人市民文化交流協会

お問い合わせ ● 電話：0797-76-5917 fax: 0797-76-5918 宝塚市国際交流協会事務局